

華麗 加齢なる 女子の道

「女子」に関するアンケート発表

女子会、オトナ女子など、すっかり定着した感のある「女子」という言葉。その一方で「シニア女子」なんていう言葉も登場し、読者からは「一体女子って何歳まで?!」と困惑の声も。そこで読者アンケートを実施。「女子」という言葉に隠された女心について盛矢澄香さんに聞きました。

(文/久保真理子、絵/黒松晴美)

盛矢澄香さん(56歳)



広島修道大学の非常勤講師を務めながら「エンパワーメント・パートナー」として企業や個人の持つ本来の「生きる力」を引き出すセミナーを各種開催。日本スローエイジング協会認定Dr'sカウンセラー、キャリアカウンセラーなどの資格も保有

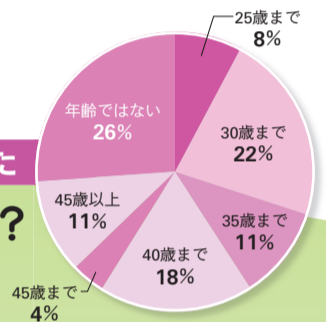
「これってオバサン？」 いえいえ、人生レベル上がっています!

読者からは、耳が痛くなるような「これってオバサン?」と感じたエピソードがたくさん寄せられました。でも、盛矢さんは「オバサン化、大いに結構。年齢を重ねることは、魅力が増えて「豊か」になっていくということです。マイナスに見える部分も、見方を変えればスキルアップ。あなたの能力や魅力は必ずアップしています。自信を持って」とニコリ。

女性読者100人に聞きました

「女子」って何歳まで?

その他のアンケートは「リビングひろしま.com」の「気になる数字」ページで公開中



ショッピングで値段交渉したり、オマケを催促したりが恥ずかしながら平気でできたとき、「自分がオバサン化してる…」と感じます(46歳)

読者の声



相手の反応を見ながら上手に交渉できる技術は拍手モノ。結婚や子育てという「究極のサービス業」を経験したからこそ磨かれた能力と言えるでしょう。家計の助けにもなって家族にもメリット大ですね

2面につづく

姿勢や表情が悪いと老けて見える。膝が開いて、歩いたり座ったりすると、オバサンに見える気が…(49歳)

読者の声

「見られている」という緊張感がないのはNGですね。心と体はつながっていて、相互に影響し合っています。「心の年齢」が顔や姿勢、所作に表れると心得て、姿勢や身だしなみは常に意識して

ズバリ「女子」は37.2歳まででも、本音は…

「女子って何歳まで?」という問いへの回答の平均値を出したところ、「女子」の限界年齢は、ズバリ**37.2歳**。とはいうものの、実は一番多かった回答は「女子は女子、年齢は関係ない」でした。「おばさん会や熟女会はない、いつまでも女子会。気楽です」(59歳)という声も。

「若さ、は誰にでも平等にあり、そして失われるもの。女子という言葉には、若さへの憧れとともに、自分の中にある「若々しい心、への自負。女子という気楽な立場への羨望(せんぼう)もあるのかも」と盛矢さん。家事や子育て、仕事…と、責任・ストレスからときには解放されたい、そんな女性の思いも伺えます。

